

# 全国高校生体験活動顕彰制度 「地域探究プログラム」

## 1 ねらい

- (1) 物事を探究する姿勢、主体的に取り組む態度、課題に向き合う力、課題を多面的・多角的に捉える力、聞き手に分かりやすく伝えるための技能を身に付ける。
- (2) 学校・地域・企業など多様な人々と協働しながら地域・社会にある課題解決に向けた取組を行うことで、郷土や自然に愛着をもち、新たな価値を創造する高校生の育成を図る。

## 2 事業の概要

高校生の体験活動を通じた成長を目指し、「地域」を舞台に高等学校学習指導要領のキーワードである「探究」の手法を用いて学習を深める事業である。本事業は次の4つのプログラムから構成される。

### (1) オリエンテーション合宿

指定されたカリキュラムに基づいて実施される、実践活動のための学びの場であり、地域探究プログラムの概要を知り、探究のプロセスについて学ぶ。また、実践活動に向けた計画を立てる。

### (2) 実践活動

オリエンテーション合宿で学んだことをもとに、参加者自身が地域の課題を見つけ、解決に向けた取組を行い、報告書を作成する。

### (3) 地方ステージ

実践活動での取組を発表し、全国ステージに進む代表者（代表グループ）を決定する。

### (4) 全国ステージ

地方ステージで選出された代表者（代表グループ）が発表し、優秀者には各賞が授与される。

## 3 活動期間

令和3年6月10日～令和4年2月13日

## 4 活動場所

### (1) オリエンテーション合宿・実践活動

(令和3年6月10日～)

愛媛県立長浜高等学校及び学校周辺

### (2) 地方ステージ(令和4年1月16日)

国立大洲青少年交流の家

### (3) 全国ステージ(令和4年2月)

国立オリンピック記念青少年総合センター

(オンラインでの開催)

## 5 参加者

愛媛県立長浜高等学校の1年生27名

## 6 講師

前田 眞 氏

(国立大学法人愛媛大学社会連携推進機構 教授)

国立大洲青少年交流の家 職員



## 7 活動内容と参加者の様子

### (1) オリエンテーション合宿

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策から、長浜高校で実施した。生徒は前田氏に指導していただきながら、フィールドワーク調査を行い、青島や住吉神社の实地踏査、学校付近の海岸や商店での聞き取り調査等を行った。それらの活動を通して、生徒は長浜地区や長浜高校が抱える課題を改めて見つめ直すことができた。2日目の午後からは、「中間発表会」という形でそれまでの取組を発表し、現時点の課題を共有したり、今後の実践活動に向けてどのように探究を深めていくか見通しをもったりすることができた。



### (2) 実践活動

各班の課題の解決に向けて、実践活動に取り組んだ。例えば、長浜地区に捨てられるごみを課題とした班は、昨年度までの取り組みも参考にしながら、のぼり旗を設置することで捨てられるごみの量が減るのではないかと考えた。のぼり旗設置の有無で、捨てられたごみの量を比較し、ごみの減少にのぼり旗が有効であることを確認した。そして、これらの活動を他団体と連携し、その輪を地域に広げることができるよう取り組んだ。その他の班でも、長浜高校の入学者減少に伴う分校問題に着目し、オリジナルのお弁当や動画を制作、地域活性化を目標に地元企業と協力した商品開発、ホームページによる地域の魅力の発信等の実践を行った。実践活動の取組は、実践活動報告書としてまとめ、本部に提出した。書面審査を経て、6つのグループが、地方ステージに出場することとなった。

### (3) 地方ステージ

評価委員、当施設の職員、報道関係者が出席する中、出場した6つの班はそれぞれの取組の成果を発表した。評価委員の早稲田大学文学学術院教授 沖清豪氏と愛媛大学社会連携推進機構教授 前田眞氏からも、地域課題の解決に向けて主体的に取り組む生徒達の姿勢を高く評価していただいた。最優秀には「愛媛ゴミ0プロジェクト カワイイのぼり旗でゴミを減らそう！～長浜から愛媛へ～」が選ばれ、班員の3名が全国ステージに出場することとなった。



### (4) 全国ステージ

全国から学校・団体参加型の7団体と個別参加型の5名がオンラインで出場し、取組の成果と課題について発表した。四国ブロック代表の長浜高校は、取組が地域ぐるみで行われていたり、今後の展望を見通していたりしたことが高く評価され、全国高校生体験活動顕彰制度委員会委員長賞を受賞した。

## 8 成果と課題

生徒一人一人が課題の解決に向けて、真剣に考え、行動することができた。実践活動に取り組む中で、多くの情報を整理し分析する力も身に付いた。地方ステージにおけるそれぞれのグループの発表は独創性のある内容で、発表態度、表現力からも生徒達の成長を感じることができた。そして、発表を通じて、新たな課題も見付けることができ、さらなる探究活動のスタート地点に立つことができたと思われる。

今年度は愛媛県立長浜高校と連携して実施したが、より多くの高校生が取り組むことができるよう、今後、他校への周知・広報を行い、探究の輪を広げていきたい。

(担当：企画指導専門職 徳田 義実・高木 啓吾)